

在京白聖会報

第19号

平成17年10月10日

発行

在京白聖会
(事務局)

〒105-0003 東京都港区

西新橋1-17-11

リビティ11ビル 8F

玉澤健児税理士事務所 内
TEL&FAX.03-3501-1391(直通)<http://www.hakua.sokei.co.jp/index.htm>

在京白聖会クラブ活動のご案内

11月18日(金)「白聖五行歌会」発足へ

五行歌の会主宰・草壁焰太氏による講演会を開催、参加者を募集
テーマは「五行歌」啄木を引き継ぐ21世紀の文学」

一年に一度の総会・懇親会だけでなく、同好の士が集まって楽しめる機会をつくりたいという声が高まり、在京白聖会の中に、様々なクラブ活動が発足しています。そんなクラブ活動の一つとして、この度、「白聖五行歌会」が発足することになりました。その発足記念講演として、11月18日、五行歌を創始した草壁焰太主宰の記念講演(参加費無料)を行います。ご家族や友人のご同伴も大歓迎です。皆様ふるってご参加下さい。

「五行歌」とは

花びらの
小さな
ふくらみに
あの人の指を
かくしてやるのだ

これは、五行歌を創始した草壁焰太主宰が19歳の時に詠んだ「五行歌」です。



「五行歌」を創始した
草壁焰太主宰

この世を
見るため
私は生まれた
十分見たと
言えるか

この作品は、草壁焰太が今年3月に発表した歌集「海山」所収の「五行歌」です。

このように、ふだん使う飾らない言葉を使って、五行で書くのが「五行歌」です。1行を1息で読める字数にして五行で書くということ以外、一切制約がありません。また、人の歌に感想や講評は述べても、批評をしないというルールがあります。

募集!
「第3回在京白聖会ゴルフ大会」11月11日(金)開催
参加者を募集中です。詳細は四面をご覧ください。

したがって、初心の方でも親しみやすいことから、全国で愛好者が増えています。

俳句や短歌を愛好されている方からも、自由で季語や五七五の字数に縛られない「五行歌」は新鮮で、新しい形式の歌という評価をいただいています。

「啄木と五行歌」

「五行歌」と啄木は深い関係があります。五行歌を創始した草壁焰太主宰は、石川啄木の短歌三行分かつ書き方をヒントに

「第1回在京白聖会女子サークルの会」開催される 平成17年7月3日(日) 於：大森東急イン



伝統のある盛岡中学が盛岡一高となり昭和25年から女子が入学したのですが、その一回生が70歳を越えました。現在は男女

「五行歌」を創始されました。草壁焰太は「啄木が長生きしていたら、彼が五行歌を創始していただろう」と語っています。

「五行歌」づくりを指導

啄木は、いわば白聖人の遺伝子です。そこで、在京白聖会のクラブ活動として、啄木にも縁の深い「五行歌」を愛好する会をつくることになりました。

の比率が半々と聞きますが、時代により差はあるものの全体的に女子は少数派でなかなか親睦が図れないとの声があり、女子だけで集まってみたらということとで、去る7月3日(日)、大森駅隣接の「大森東急イン」にて、12時半から「在京白聖会女子サークルの会」(仮称)が開催されました。出席者はS28年卒からS53年卒までの方36名でした。一人30秒の自己紹介の後、テール毎に話がはずみ、懐かしい高校時代のエピソードや思わぬ出会いなどで盛り上がり、同窓ならではの雰囲気の良い会でした。最後に、年一回今後この会を開催すること、70歳になった回生が幹事を務めることなどを決めて会を終りました。

(土橋とも子)

まずは「五行歌」とはどんなものか講演を聞いてみましょう。講演のあと、創始者ご自身による「五行歌」づくりの指導も行われます。会場等詳細は4面をご参照下さい。

お願い
会費未納の方は、同封の振替用紙で会費二、〇〇〇円をお振込み願います。



盛岡における白聖應援OB会 (7月17日：前列中央が星氏)

頑張れ現役應援委員 そしてすばらしきOBたち

——ミニミニ電子白聖会を通じて思うこと——

「白聖應援団30」 管理人

星 邦彦 (在京白聖三四会)

<http://www10.ocn.ne.jp/~hakuaoen/>

WEBサイト「白聖應援団30」を主催し、現役・OB・他校卒業生とさまざまな人たちのアクセスや掲示板投稿を受け入れている身にとって、今年は特にうれしい年である。

年初に掲示板(應援委員会室)

投稿で正々堂々と意見を述べる頼もしい應援委員がいるのが眼を引いた。在校生が多数アクセスしているらしいが投稿はまれで、何か期待したくなる感じがした。その後まもなくバレーボールやハンドボールなどの活躍が白聖OB「平館氏のサイト」を通じて次々に報じられてきて、野球部にも期待が集まってきた。一高のバンカラ應援は多数の一高生が應援委員を信頼しそのリードの元に一丸となって応援歌を歌いエールを送らなければ効果が少ない。その点今年の一高は好条件に恵まれた。夏の高校野球こそ初戦敗退であったが、ここでの應援委員の姿は白聖OB「装飾一代男氏のサイト」に見られるように自信に満ちたものであり、百戦錬磨の風格を漂わせている。これは春先早くから応援活動を重ねてきた成果であろう。

偶然にも所用があり、高校野球初日に盛岡に行くことになった。そして野球部OBの小原氏や「疾風会サイト」の佐藤氏の計らいで、應援委員OBの経営する店において昭和30年代から最近までの應援委員OB10数名と白聖スポーツ平館氏が一堂に会して大いに語り合う機会に恵まれた。そこにおいて白聖應援委員の卒業しても燃え尽きない母校応援への沸々たる情熱を感じ、さらに今年度の應援委員のすばらしい活動と、平のアド

バイスに耳を傾けながらも自分たちのやり方を確固として作り上げていく様子を聞いた。

帰京して程なく盛岡で会ったOBからメールが入った。現役應援委員から千葉高校総体バレーボール応援への遠征にあたって在京白聖会の和太鼓を借りられないか相談を受けた、ということであった。早速あちこち手配した結果、在京白聖会諸氏のご協力を得て常任幹事白石氏の手配により應援委員は和太鼓を使用することが出来た。迅速で強力なOBのバックアップは、全国広しといえども白聖会の右に出るものはないと自負する次第である。



講演中の村上雅人氏と、講演の中で披露した超伝導実験(超伝導体を利用した永久磁石の浮上実験=写真上と、磁石による鉄球の浮上実験=写真右)



48年卒松本正之さんがコンサートマスターをつとめるバンド演奏

平成17年度総会報告

平成17年度白聖会総会が5月14日(土)、「アルカディア市ヶ谷」で開催されました。「芝浦工業大学教授 村上雅人氏(49年卒)」による講演会からスタート。この講演では、普段見ることのできない「超電導による物体の浮遊実験」等で楽しませていただきました。

会場を移しての総会では、新会員の選任等が行われ、新会長



好評だった白聖関係者の著書展示コーナー

の馬場 信氏の挨拶などがありました。懇親会では、48年卒有志の所属する本格的なジャズバンドの演奏を中心に、卒業生の著書紹介、白聖写真展、盛岡より直接持参したどぶろく、48年有志による手作りハム等で盛り上がりしました。著書紹介では、約40冊の著書が集まり、総会後は盛岡一高の図書館に寄贈しました。最後は、校歌・応援歌の斉唱、エール、次年度幹事の紹介へと続き散会いたしました。(48卒)



49年卒への幹事引き継ぎ後、校歌蜜唱

白聖活躍人 みやこうせいさん (昭和31年卒)

ルーマニアに魅せられた人生

ふとしたきっかけでルーマニアのフォークロアと係るようになってしまった。一九六五年から毎年のようにかの地に渡り、訪問は百十五回を数える。はじめ言葉は一切分からなかったが、仏語を少しかじっていたので、少しきつかけができた。はじめてのルーマニアで、カルパチア山中の村へ行き、既視感にとられる。そこでは、人々は家畜と一緒に住み、農牧半々の

くらしを営み、衣食住とも自給自足できるのだ。雰囲気は東北の山村めいて、柵屋根の家、時に草ぶきの家がある。ルーマニアの村人とは、はじめからなじんだ。

人を見るや自分の家に招き入れ、まず食事が出る。ついで四十五度のプラムの地酒が出る。ともかく、人間が好きで好きでしようがないといった人たちだ。ルーマニア全土で味わったこと



◇みやこうせい(S31卒)
エッセイスト、批評、翻訳、メルヘン、写真他。著書「マラムレシユルーマニアのフォークロア」(未知谷)、翻訳絵本「ポリボン」(福音館書店)、写真集「ルーマニア讃歌」(平凡社)ほか。パリ、ローマ他でも出版。写真展をパリ、ウィーン、ローマ他で開催。講演多数。

東北の山村を彷彿とさせるルーマニアのカルパチア山中の村。人々はいまも農牧半々で自給自足のくらしを営む



だが、見知らぬ人の家へ入ってすぐその家のばあ様が、「私の孫よ」とのたまう。そのお母さんは、「あんたは私の子どもだからね。いい、分かった? あんたは日本に一人とルーマニアに一人ママがいるんだからね」というのである。そして、請われるまま滞在して三日を過ぎる頃、さあ、そろそろ出発しようかなあ、とつぶやくと、ママ達はみるみる大粒の涙をためて、もつといない、好きなだけ、と引き止めににかかる。一家中で、「帰ったらポカン」と人を打つまねをする。毎日のご馳走と歌、踊り、妖精めく美女たち……。あ、これって陸の龍宮城みたいだなあ。

ルーマニアを通り抜けて花のパリへ行くつもりが三カ月もやさしい人々の間で過ごし、おかげで他国へ行ってからは、味気



村落共同体が今も残るルーマニアの農村のくらし

生きていくかと思われる、そんな性格の類似点がある。あるいはリンカーンも驚く羊の羊による羊のための生き方がある。ほくはここではじめて、村落共同体にふれる。人々は本当に慈しみ助け合ってくらしている。

なくなつてしまつた。村の人は、多く羊を飼つていて羊のよう羊らしく羊として

人々の表情はともいい。善良そのものである。ルーマニアは約半世紀、自称社会主義体制の中にあつたが、権力は腐敗するものだ。独裁者は自由を圧迫し、都市部では秘密警察が巾を利かし、人々は三無主義(見ざる、聞かざる……)をよしとした。ほくも何度も秘密警察に呼び出された。ほくは人間、人生の楽しさをとことん知らせてくれた山間の民の生き方に感じ入り、風俗、習慣、伝統を探り、本を書き出した。ほくは指揮者のようにルーマニアのため人生を棒に振るようになった。

好奇心の淵源は、やはり盛岡一高で過ごしたまばゆい三年に求められると思う。



善良そのもので、とてもいい表情をしているルーマニアの人々

11月11日(金)「第3回在京白聖会ゴルフ大会」開催要領

期日：平成17年11月11日(金)
会場：ザ・カントリークラブ
グレンモア

(〒270-1504 千葉県印旛郡栄町
麻生71-2 TEL.0476-95-5555)

スタート：OUT・IN共9
時03分から各6組
集合時間：8時30分(厳守)



昨年個人優勝の小林建俊さん(左から2人目)と36年卒チームの皆さん

募集定員：48名
費：5千円(パーティー
費、賞品代ほか)

プレー費：プレー費(2,450円)
+昼食代等は各自精算して下さい。

交通：JR京成成田駅よりタクシ
ー約10分。成田ICよりクル
マで約15分。

送迎バス：東京駅—会場間の
往復送迎バスを用意いたしま
した。どうぞご利用下さい。
東京駅7時00分発。料金は有
料(往復3千円)です。

申込み：参加は個人、チーム自
由。ただし、卒業年次単位1
チーム4名の一括申込みを歓
迎します。

申込み：①氏名 ②連絡先住
所 ③電話番号 ④卒業年次 ⑤
チームの場合は代表者名 ⑥
送迎バスの利用有無—を明

記し(書式自由) 事務局宛お
申し込み下さい。
申込締切：平成17年10月24日
(金) ただし、先着順、定員
に達し次第締め切り。
プレー：18ホールズストロー
クプレー。ハンディはダブル
ペリア方式で算出。同ネット
は卒業年次上位。
対抗戦：卒業年次別対抗戦を
行います。1チーム4名の上
位3名の合計スコアで順位を
決定します。
表彰：年次対抗戦団体優勝、
個人戦優勝はか賞品多数。
実施要領：参加者には後日詳
細な実施要領を送付します。
申込先：在京白聖会事務局
〒105-0003 東京都港区西新
橋1-17-11リバイ11ビル8階
玉澤健児税理士事務所内、
TEL/FAX.03-3501-1391(直通)

11月18日(金)「白聖五行歌会」発足記念講演 開催要領

日時：平成17年11月18日(金)
午後6時30分～9時

会場：第七東ビル1階会議室
(千代田区神田佐久間町1-9)

※下記地図参照

講演者：五行歌創始者・五行歌
の会主宰 草壁房太先生

講演テーマ：「五行歌・啄木を
引き継ぐ21世紀の文学」

参加費：無料

参加資格：在京白聖会員および
会員の在京白聖会員とご同伴
のご家族、ご友人の参加も可
といたします。

交通：JR秋葉原駅中央改札口
(つくばエクスプレス側の新し
い改札口です)より徒歩2分、
東京メトロ日比谷線秋葉原駅

より徒歩3分(地図参照)。
申込み：参加をご希望の方は、
あらかじめ電話、FAXまたは
Eメールで①氏名 ②卒業年
次 ③連絡先電話番号を「白聖
五行歌会」事務局までお知ら
せ下さい。ご連絡のない方は、
満席の場合、恐縮ですがお断
りする場合があります。(下記参照)

申込先：「白聖五行歌会」事務
局 〒102-0835 東京都新宿区中
町1番地 中町マンション11号
桜出版内 山田武秋(S42卒)
TEL.03-3269-3420
FAX.03-3269-8480
E-mail sakurao@leaf.ocn.ne.jp

申込締め切り：当日11月18日ま
で。参加申し込み多数の場合、
先着順となりますので、お早
めにご連絡下さい。

ひと言：「五行歌」創始者の講
演と、創始された主宰者本人
からつくり方の指導を受け、
「白聖五行歌会」を生涯楽しめ
る会に育てていきたいと思っ
ています。地元、岩手をはじめ
め、全国に「五行歌」を愛好
する仲間が大勢増えています。
なお、「五行歌」についての
詳細は「五行歌の会」公式ホ
ームページ <http://5gyohka.com/>
をご覧ください。

【会場地図】
上野方面
JR秋葉原駅
中央改札口
つくばエクス
プレス
JR山の手線
東京方面
昭和通り
ヨドバシ
カメラ
JR総武線
千葉方面
講演会場はここです
第7東ビル
1階
産報出版
書泉
東京メトロ日比谷線
秋葉原駅「5番」出口
ホテル
フシント

その他の同好会情報

「美術鑑賞クラブ」発足へ

在京白聖会は、会員の自主的な
サークル活動を応援します。会員
に呼び掛けて、こんなサークル活
動を行ってみたいというアイデア
をお持ちの方は、事務局までお気
軽にご相談下さい。

現在、対象となっているクラブ
活動は「ゴルフ大会」「女子サーク
ルの会」そして今秋11月に発足す
る「五行歌会」の3つ。さらに白
聖会員の画家・書家・彫刻家の解
説を聞きながらの美術館巡りなど
を行う「美術鑑賞クラブ」も予定
されています。クラブ活動のご案内
は適宜行ってまいりますので、
楽しみにお待ち下さい。

クラブ活動を通じて、スポーツ
に、文化に、白聖の華をいっばい
咲かせていきましょう。

編集後記

在京白聖会は今年度、会長は
か役員と事務局等が交代、一新
されました。といっても基本方
針に変更はなく、会員が楽しく
集い、交流を深め、教養を高め
られる「開かれた同窓会」を目
指してまいります。新しい事務
局は書家・浅沼一彦氏(S27卒)
ご揮毫の本紙題字下の通り。今
日の土台を築かれた諸先輩の志
を受け継ぎ発展させて参りたい
と思っておりますので、どうぞ
よろしく願います。